

令和3年度 活動報告

コミュニティひばりの
1年間の活動をまとめました

長尾台小学校 長尾台小学校長 柴田 芳宏

5年生防災学習 ～地域の方々と共に～

5年生の防災学習をコミュニティひばりの地区防災委員会をはじめとする地域の方々にいただきました。阪神・淡路大震災の体験をお話ししてください、その後、「地震が起こったとき、どのように避難すればよいか」という視点での授業もしていただきました。ご用意いただいていた子どもたちの住んでいる地域の地図を元に、自分の家から安全な場所に移動するための避難経路につい

てタブレット等を使って調べた子どもたちです。この授業を通して、子どもたちの自助、減災の意識がずいぶん高まったと感じています。子どもたちからは「すごい役に立つ勉強だった」という感想が寄せられています。これからも長尾台小学校区をふるさとに持つ子どもたちを学校、保護者、地域で共に育てていければと思います。本当に素敵な授業をありがとうございました。



青少年補導委員 佐藤 悦子

身近な場所の安心安全を守る

補導委員の今年1年は、引き続きコロナの影響を受け会合や行事も縮小されましたが、身近な場所のパトロールや声掛け運動をとおして不審者や犯罪者が入り込みにくい安心安全な環境を守ることに取り組めました。補導委員では2名の欠員があります。一緒に活動して頂ける方を募集しています。

校区人権啓発推進委員会

梅田 美佐子

学校保健委員会との共催で 学習会を開催しました

テーマは「あーよかったな、あなたがいて」～優しさという温かい貯金～ 教育サポーター仲島正教先生にお越しいただき、教職員の皆様と共に学ばせていただきました。出会いを大切に、こどもの可能性を信じる！行動を起こすのは自分自身、優しい言葉をかけているか？人間関係を育てていくポイント「あなたはひとりじゃないよ！」を合言葉に明るい地域をと願っています。

福祉部会 部会長 円藤 義治

本人の意思を尊重したケアを

先日介護についてのお話の会を花屋敷荘園の自治会館で開催しました。在宅介護の体験談の中で、一番辛くてしんどい目にあっているのは介護者と思っていたが、辛くて不安を抱えてしんどいのは本人だと気付かされた。本人の思いより家族の都合が優先されるが本人の意思を尊重されるのが一番いいのですが現実には難しいです。

雲雀丘浪漫委員会

委員長 正司 泰一郎

今年度で活動を終了します

100年浪漫委員会から引き継いだ課題のうち、伝統的建造物群保存地域指定の推進、無電柱化等道路整備、地域公共交通システムの整備はコミュニティひばりが継続的に取り組むよう「まちづくり計画」に示しました。旧安田邸については市民有志が別途法人を立ち上げて再生・利活用に向けて取り組む予定で、これをもってコミュニティひばりとしての取り組みを終了します。

環境部会 部会長 中尾 幸子

まちづくり計画（環境）活動

- ①今年度と来年度にかけて自治会毎の樹木調査を実施中
- ②12/4 寄せ植えとスワッグ作り
- ③2/5 赤澤先生の講演会～緑でつくる「住みたいまち」～（雲雀丘倶楽部）は中止し、2/26 コミセンで実施。
- ④きずきの森内の車両通行および長尾台ふれあい公園からきずきの森へのルートについて市関係部署と対話

きずきの森

- ①県助成金を利用して兵庫県自然保護協会に生物調査を依頼
- ②ゾーニング計画策定

文化交流部会 部会長 多田 久子

ふれあいコンサートを開催しました

11月21日、ふれあいコンサートをコミュニティひばりで開催しました。音楽は、時間の時代が過ぎても、生き方の時代に戻れて、歌が鳴り響きます。歌は、エネルギーが湧いて、持続可能なスイッチが入る夢があります。会場一杯の歌声が鳴り響き、拍手がこだましたコンサートでした。コンサートは、コミュニティひばりの活気ができる事業です。



子ども福祉部会 部会長 河野 明美

焼き芋大会の開催 「子ども福祉部会だより」配布など

今年度もコロナに翻弄された1年でした。放課後子ども教室「坂っこひろば」も開催できたのは2回のみ、子ども達と出会えず残念でした。11月13日の焼き芋大会では、約100本焼いてスタンプリーの参加者などの皆さまにお配りしました、「美味しかった」の声。また、長尾台小の全児童には「子ども福祉部会だより」を配布、子ども向けのクイズや、保護者向けには相談窓口の紹介・連絡先などを掲載。計画していた「NPO 法人こども療育センター」の方の講演は持ち越しとなっています。来年度こそ、カレーランチや餅つき大会など楽しい企画で盛り上げたいです。

安全部会 部会長 下堂 昇

交通マナー意識向上のために

今年度は校区内通学路点検を実施すると共に、交通マナー意識向上を図るにはどのように活動すべきか検討しました。次年度は安心・安全のまちづくりを進めていくために、交通マナーにかかわらず様々な見守り活動に取り組んでいきたいと考えています。（交通マナー、詐欺・不審者情報、高齢者独居、空き家の荒廃、犬の糞放置等）皆さまのご協力よろしくお願い致します。

地区防災計画推進委員会

委員長 長榮 浩一

防災意識を高め災害に強い まちづくり

近年、大雨による土砂崩れや線状降水帯の多発など、局所的な災害が増え山林を宅地造成した当地域では防災体制の強化が急務です。コロナ禍でも災害発生は時を選びません。行政の動きを待つのではなく、各自治会が連携した共助の活動が必須です。今年度は避難所運営マニュアルを整え、設備強化を行い、その訓練を行いました。十分ではありませんが継続的に防災に触れる機会を提供し一人一人の防災意識を高める活動を推進しています。